

## 富士山西麓の地質

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-09-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤井, 巖 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00006137">https://doi.org/10.14945/00006137</a>

# 富士山西麓の地質

藤 井 巖\*

日本第1の高峰であり、四季それぞれにその容姿を変え私達の日を楽しませてくれる富士山は日本の美しさを象徴するものである。この富士山の西麓の地質を卒業研究として調査したので、その結果を要約して報告する。

本調査に当り、終始懇切なる指導を給った鮫島教官・当地学教室教官諸氏に厚く御礼申し上げる。

## (I) 地 形

当地域の南部には富士川を狭んで、東北側に星山丘陵（標高200～300m）、南西側に岩淵火山（300～500m）があり、西側には庵原山地（500～700m）が続いている。それが北方に延び、天子岳（1316m）を主峰とする天子山地の険しい稜線に続く。

円錐火山の典型である富士火山は、詳しくみると北西～南東方向に長軸をもつ楕円錐を示す。その山腹斜面の傾斜は、山頂から裾野にかけて指数函数・三角函数で近似的に示される美しいスロープをもつ。しかし、寄生火山・浸蝕谷・各種熔岩地形等によってその美しいスロープも乱される。当地域には、東北方にF山・佐原山・二ツ山・長山・八軒山、中央に犬スズミ山、東南方に罫塚の各寄生火山が、又西方には人穴・姥穴熔岩等の熔岩地形があり、その幾何学的傾斜が損われている。

## (II) 地 質

富士山近傍の層序及び岩種は第1表の如くである。

本調査は、狭義の富士火山の熔岩流のみであるが、いずれもカンラン石玄武岩で、今回は12枚の熔岩流に分けてみた。そこで、これら熔岩流について旧期のものと思われるものから順次極めて簡略に比較・説明してみる。

### (1) 朝霧熔岩

朝霧高原一帯に分布し、後述の(3)、(4)に覆われる。緻密質で比較的斑状構造不明瞭。肉眼的

地質時代		地 層	構成・岩石
沖積世	後期	沖 積 層	砂 礫
	前期	富士火山噴出物	火山灰・砂礫・玄武岩熔岩類
洪積世	後期	洪積期段丘礫層	砂礫及び粘土
		古富士火山	玄武岩塊・火山灰泥
	前期	小御岳火山	含カンラン石・複輝石安山岩
別所礫層		粘土及び砂礫	
鮮新世		浜石岳礫層	礫 石

第1表 富士山周辺の層序

\*教育学部 昭和39年度卒

に(8)と類似するが、鏡下にて稀に斜長石斑晶認められる。

(2) 広見 熔 岩

広見地方に分布し(4)に覆われるが、(1)との層序明らかでない。径8mm前後の明瞭な粒状白色斜長石斑晶認められる。

(3) 上井出 熔 岩

上井出地方の分布で(1)を覆い舌状に延びる。腐植するもの多く、25mm大の比較的自形を呈す斜長石斑晶が浮き出している。

(4) 犬スズミ山熔岩

寄生火山犬スズミ山から流下したものと考えられ、遠く西方芝川付近まで広範に追跡出来る。(7)と類似し斑状構造不明瞭であるが、鏡下でカンラン石非常に多く塩基性である。

(5) 片蓋山 熔 岩

寄生火山で(3)を覆う。斜長石・カンラン石、点在し、短冊状・針状の斜長石石基認められる。

(6) ニツ山 熔 岩

岩澤丘ニツ山から流下し、(7)、(8)に覆われる。(5)と類似するが、鏡下にて等粒状の斜長石石基に少量のカンラン石の斑晶が認められる。

(7) 一本木 熔 岩

犬スズミ山の西方500m付近に多く露出し、上井出地方まで、(3)、(4)、(5)を覆って舌状に分布する。(4)に比し、暗灰色でカンラン石少い。

(8) 白 山 熔 岩

(5)、(6)を覆い、(9)、(10)Aに覆われる。緻密質で、鏡下にてほとんど無斑晶に近い。

(9) 長 山 熔 岩

長山寄生火山のものと考えられ、他に比し優白色的で、比較的斑状構造明瞭。

(10) その他の熔岩

今回でその源を調査出来なかったものとして、各々異種と考えられるものを3つに分類した。

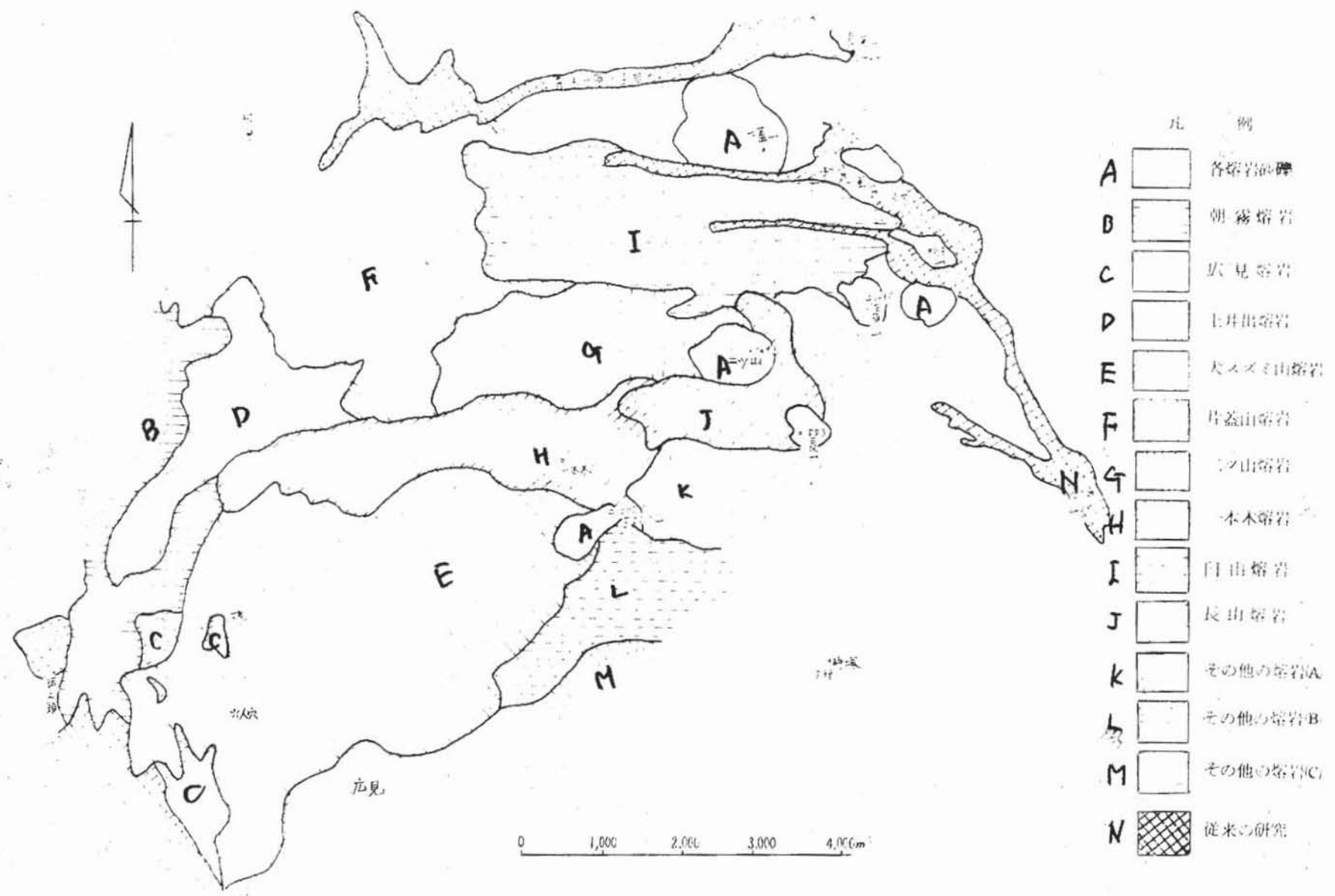
A……長山と佐原山の中間一帯及び長山と犬スズミ山の間に分布し(7)、(9)を覆う。径10mm程度の粒状白色斜長石及びカンラン石が点在する。

B……犬スズミ山南方1,000m付近から西方2,000m付近に分布し、(4)を覆う。30mm大の斜長石の点在する明瞭な斑状構造。

C……塙塚の下方4,000m付近にあり、石基とほぼ同色の等粒状(径10mm)斜長石が点在する。

(Ⅲ) 結 び

富士山西麓の狭義富士火山の熔岩流を、12に分類してみたが、問題点を探し出すまでもに至らず、地質学的に岩石学的に今後の研究をまつ次第である。



第1図 富士山西麓の地質図